

図 1 都道府県歯における役員総数と女性役員数

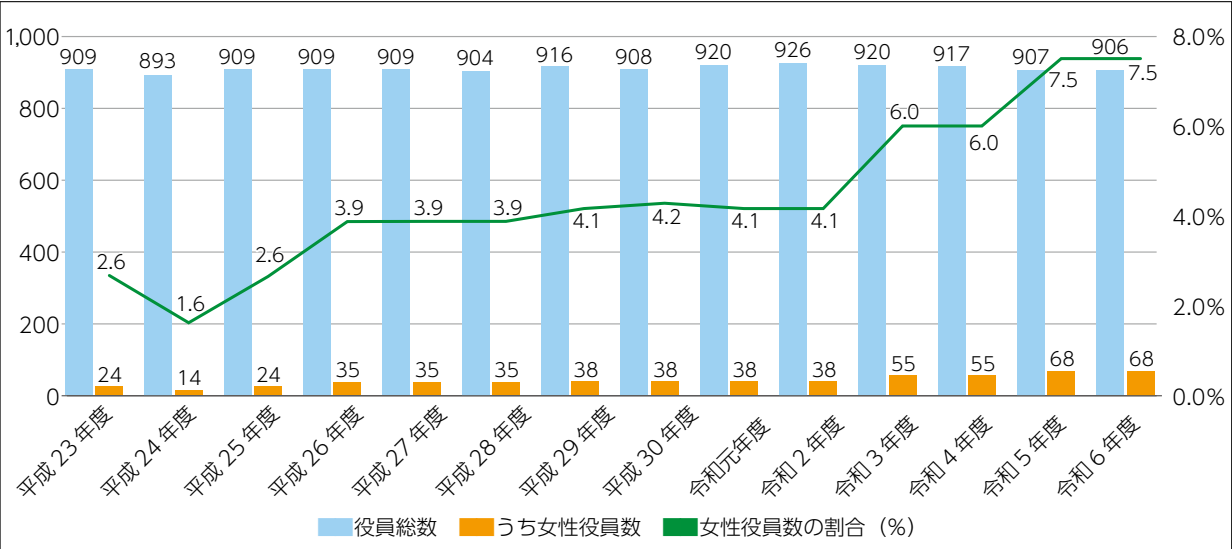


図 2 都道府県歯における委員会数と女性委員が在籍する委員会数

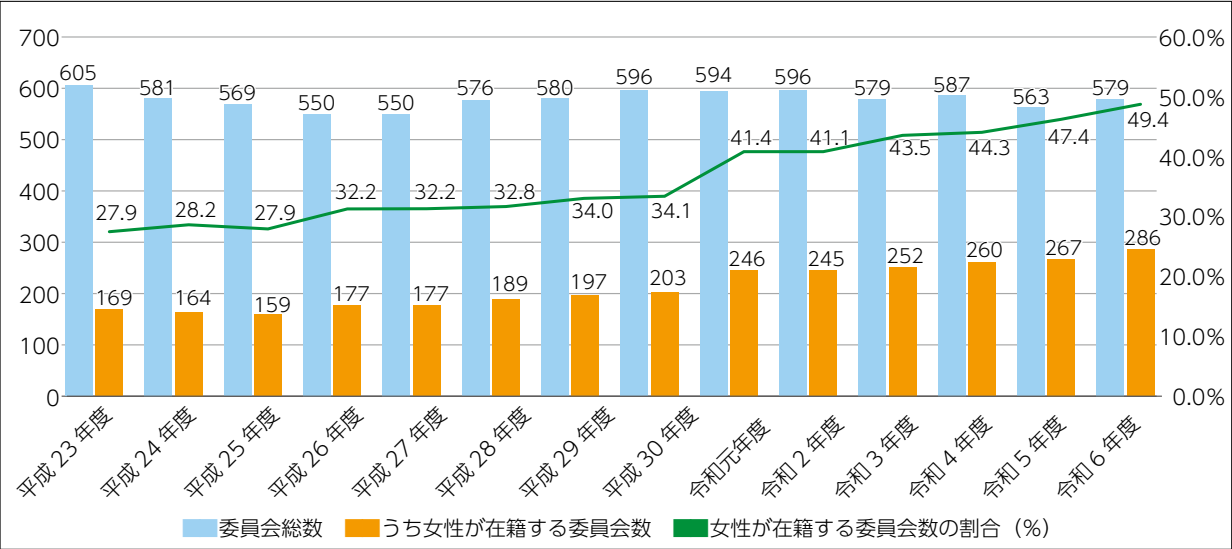
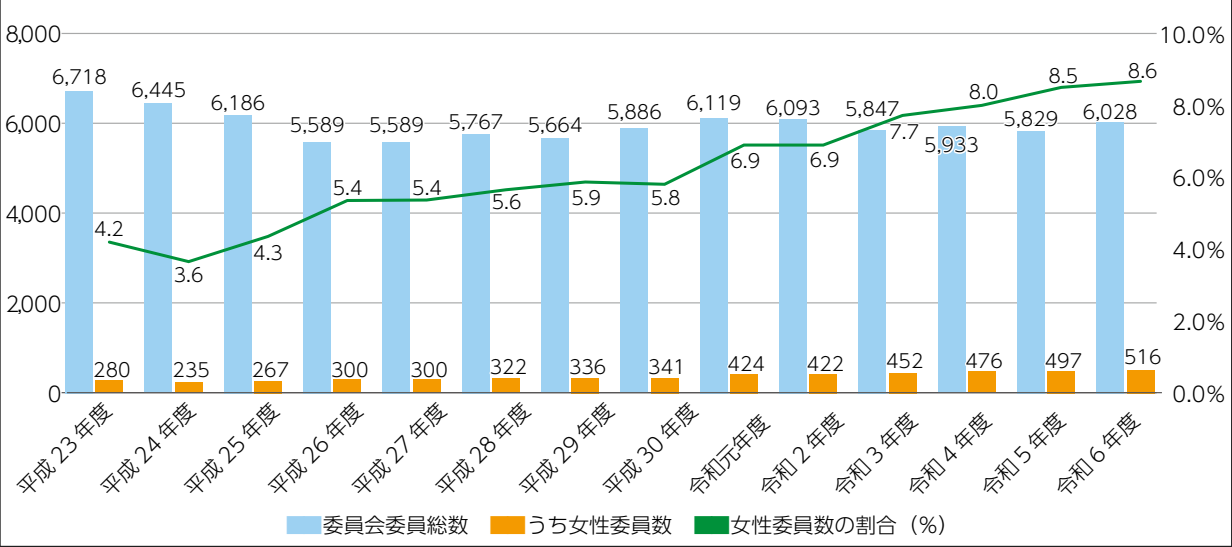


図 3 都道府県歯における委員会委員総数ならびに女性委員数



令和 6 年度女性の政策・方針決定参画状況調査

女性
が在籍する
委員会が約 5 割

日歯は、「令和 6 年度女性の政策・方針決定参画状況等に関する調査」の結果を取りまとめた。本調査は、内閣府男女共同参画局からの依頼を受け、第 5 次男女

共同参画基本計画等に基づき実施される「政策・方針決定参画状況に関する調べ」と、それに併せて、日歯が歯科医師会における女性の活動や活躍の支援、男女共

同参画推進の取り組み状況等を把握し、今後の支援事業に役立てることを目的として調査しており、都道府県歯を対象に、平成 23 年度から毎年実施している。

調査内容では、①役員総数と女性役員数（図 1）、②委員会数と女性が在籍する委員会数（図 2）、③委員会委員総数と女性委員数（図 3）、④委員会正副委員長数と女性正副委員長数（図 4）について定点点調査している。結果は、①から④いずれも僅少ではあるが増加傾向だった。中でも女性が在籍する委員会数の割合が 49.4%となり、前年度比 2.0

ポイント増、調査開始の平成 23 年度と比べて約 22 ポイント増であることから、会内での女性の活動範囲が拡大していることが推察される。しかし、女性が在籍する委員会種別の把握ができていないため、今後は同種別も調査していければ、都道府県歯での学校歯科保健や地域歯科保健事業への女性参画状況の把握につながると考えている。

この他、近年定点点調査しているのは、▽女性向け会員種別設定の有無（有り 2 件）、▽女性歯科医師の活動活躍支援や男女共同参画推進等の取り組みの有無（有り 26 件）である。女性向け会員種別については、その内容や設置による女性入会状況、また、男女共同参画推進等の取り組みでは具体的な内容やその後の変化など、後継する歯科医師会の

参考のためにも、今後はその詳細の把握に向けて調査内容を検討していく。

時勢をとらえた調査項目として、令和 6 年度は会外の「女性歯科医師の会」設置状況について調べた。歯科医師会の外部にある女性歯科医師の会が「存在する」は 15 件で、その会員総数は千名を超える結果だった。活動内容は、研修会・講演会開催、親睦等で、うち 13 件は歯科医師会と交流関係にあり、講師派遣・役員派遣、会場貸し出しや補助金交付等で連携している歯科医師会が散見された。一方、女性歯科医師の活動活躍支援や男女共同参画推進に関する組織および委員会を歯科医師会内に「設置している」は 15 件、「設置していないが、女性活躍支援に取り組んでいる」9 件、「設置せず、事業していない」23 件であった。

歯科医師会の中で役員・委員として活動する女性会員が増加していることは、ますます活躍が期待されるが、その一方で、女性歯科医師の入会状況低迷は続いている。

歯科医師会は、女性が歯科医師として働きやすい環境づくり、歯科医師会の中で活動しやすい環境の改善を図りつつ、組織力強化・会員増強という視点での女性の歯科医師入会促進対策を講じ、議論を重ねていく